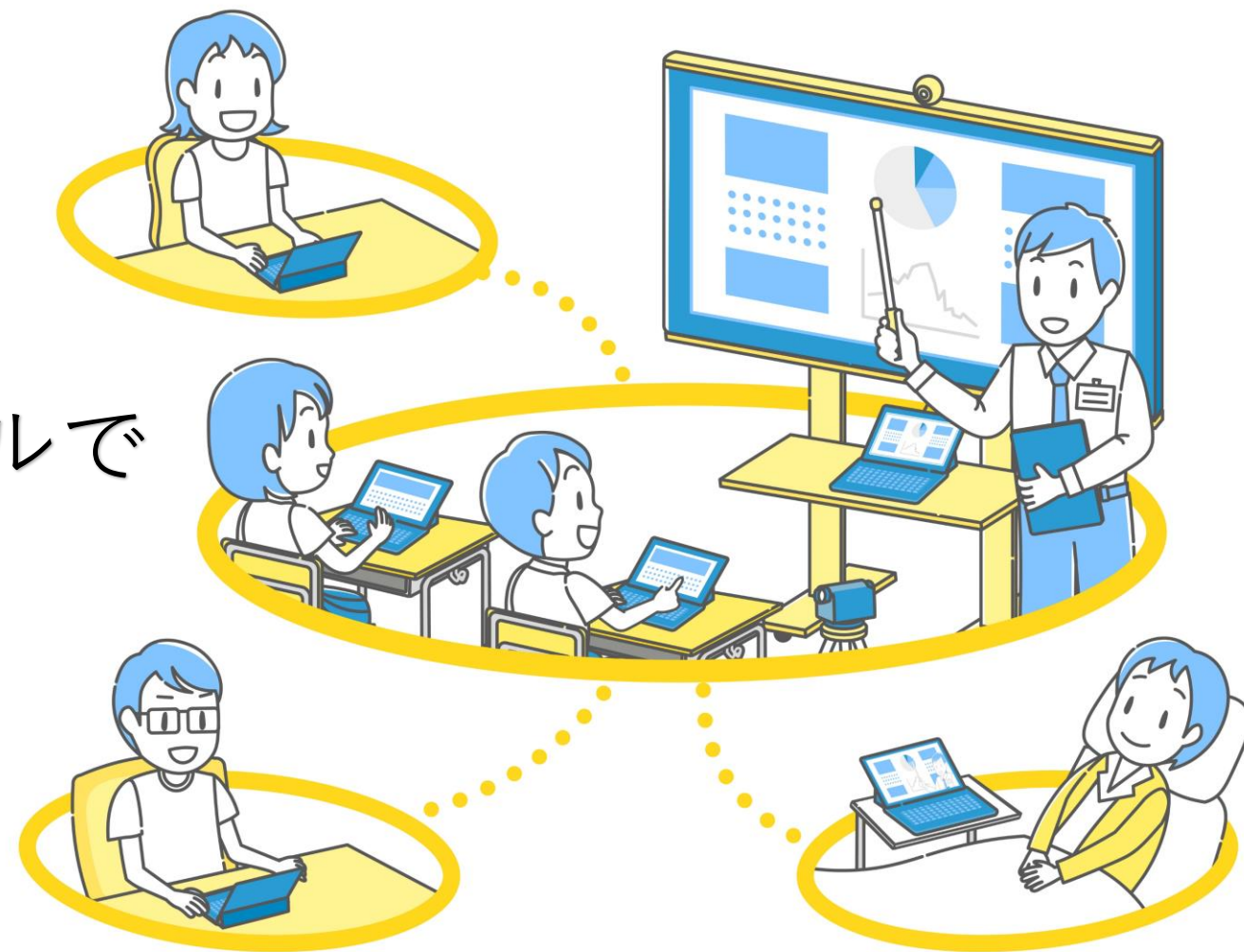


倶知安町のGIGAスクールで 活躍する「ICT支援員」





倶知安町について

- 人口14,610人(2023年10月末) 後志の中心都市
- 外国籍住民が908人、約6.2%が外国人 国際色あふれるスキーのまち

教育委員会の所管学校

- 小学校5校・中学校1校・不登校児童支援施設1カ所を管理
- 児童820人・生徒370人・教職員150名が在籍
- タブレット端末(Chromebook)1,380台・校務用PC150台を管理
- Wi-Fi アクセスポイント 144台

ICT整備状況

- MEXCBTを早期導入(令和3年度)
- デジタル教科書の配備(小学校全教科)
- デジタルドリルの配備(小学校全校)
- プログラミング教材等の早期導入





倶知安町のGIGAスクール・ICT支援体制について

倶知安町のICT支援員（令和3年度より雇用）

- 教育委員会にて「会計年度任用職員での直接雇用」を行っている。
- 令和3年度は教育委員会常勤として雇用し、端末管理や、小中学校へ訪問業務を行った。
- 令和4年度より中学校専門常勤として教育委員会より派遣。
- ICT支援員については、当初は学校からの要望は少なかったものの、今後見込まれるGIGAスクールの需要に備え、早期から重点事項として要望し、財政部局の理解も得ながら予算を確保した。
- 当初募集を行ったものの、経験者の確保や給与に見合う人材が少なく、獲得に苦労した。
- 現在のICT支援員は通信工事会社に勤務経験があり、ネットワーク等の知識が豊富で、学校のICT環境作りにも貢献している。
- 町教委の担当職員も、「ICT支援員有資格者」として、学校をサポートしている。





●「誰一人取り残されない 学びの保証」をICTで支援①～児童・生徒・教職員の利用をサポート～

- GIGAスクールで導入したタブレット端末「Chromebook」の利活用について、きめこまやかな対応を行っており、児童・生徒・教職員からの直接の質問にも答えられる体制を構築。
- 操作方法はもちろん、効果的な利用についての提言・助言など、幅広く対応。マニュアル化等の作業も行っている。
- 日常のICT活用授業において、教員をサポートし、授業内での操作補助やトラブル対応も、教室内で即時対応可能。
- 欠席者・不登校生徒に向けたオンライン授業の準備・接続・操作支援等の対応。自宅で接続できない児童・生徒のサポートも常に行っており、学びの保証をサポートしている。
- 利用したいアプリや、権限等、「管理者設定」に関することも、町教委担当者と連携しながら、管理者として対応している。

「止まらない」教育活動をICTで支援し
児童・生徒の「学びの保証」を実現

困りごとにいつでも対応できるのも、常駐ICT支援員の強み





●「誰一人取り残されない 学びの保証」をICTで支援② ～校内通信環境の運用サポート～

- ネットワークまわりの保守・管理について、外部委託等を行わず、町教委担当職員と「ICT支援員」のみで、管理・保守を行っている。
- 学校内のネットワーク敷設状況・Wi-Fi管理状況等も正確に把握しており、通信不具合時の即時対応・早期解決を可能としている。

急速に増加した通信量でも、常に安定したインターネット環境で「止まらない」学校活動を提供

起こりがちな通信トラブルに
即時対応できるのも、常駐ICT支援員の強み





●「誰一人取り残されない 学びの保証」をICTで支援③ ～安心して利用できる体制をサポート～

- 故障・破損等にもいち早く対応が可能で、軽微な修理であればICT支援員も対応する。
- 個々の通信記録・フィルタリング状況なども監視を行い、児童・生徒が安心して利用できる環境をサポート。
- 「ネットリテラシー・情報モラル教育」などに対する助言・提言も行っている。

児童・生徒・教職員が常に安心して利用できる
「守られた」環境体制を提供が可能に



このサイトはセキュリティに対する脅威があるためブロックされました。

examplemalwaredomain.com

ごめんなさい！

このページをみることはできません。くわしくは、せんせいにきてください。

※教職員の皆様へ※ 解除が必要な場合、教職員のアカウントから [解除申請ページ](#) で申請を行ってください。または、[GIGA管理担当者](#) へお問い合わせください。

理由：セキュリティ設定によりブロックされました。

[> ブロック解除を依頼する](#)

このサイトは、次のカテゴリに該当することが原因でブロックされました: Enterprise Malware

[> 診断情報](#)

いつでも安心して使用できるのも、常駐ICT支援員の強み



●「開かれた学校」づくりをICTで支援① ～学校Webサイトの更新・管理～

- GIGAスクールで導入したGoogle Workspace for Education の機能を使用し、学校の情報発信を行っている。
- Webサイト(ホームページ公開)による対保護者・対地域への積極的な情報発信を「Googleサイト」で実現。載せたい情報のやりとりを、教員間の「Googleドライブ」共有で行っている。
- 先生たちにもなじみのある、Googleサービスと親和性の高いツールで、情報発信を「直感的に」「即時に」「誰でも」「簡単に」行える環境を整えている。
- 現在、掲載の要望等に応じて、ICT支援員が主となり更新作業を行っている。また、教職員も自ら情報発信できるように、更新の方法を指導・サポートしている。

情報発信を頻繁に行うことでアクセス数が増加
保護者の満足度も高いコンテンツ公開が可能に

即時に発信ができるのも、常駐ICT支援員の強み





●「開かれた学校」づくりをICTで支援② ～学校行事の配信・研修等への活用～

- 保護者の来校や、生徒の集合が難しかった学校行事(入学式・学校祭・合唱コンクール等)を、ICTを活用して実施。
- 「YouTube」や「Google Meet」を活用し、体育館で集合できない行事を教室へ向けてライブ配信したり、来校できない保護者に向けても発信。GIGAスクール端末を積極的に活用している。
- 校務・教職員の利用においても、「校内研修」「公開授業」でも学校間の配信に活用している。
- これらの配信準備などの運用・サポートを、ICT支援員が積極的に行っている。

GIGAスクールにとどまらず、校務・PTA活動など
多様な情報発信が可能に

様々なコンテンツ発信ができるのも、常駐ICT支援員の強み





ICT支援員の導入による効果①～「数字で見るICT利用数」

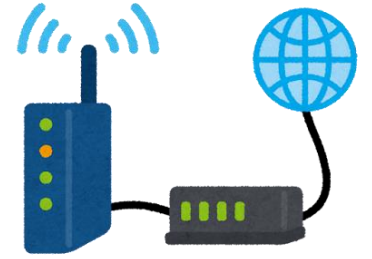
倶知安町(学校施設全体)で使用されている1日の使用量



1台当たり3.8時間

1日のタブレット端末の使用時間

717GB/1日



1日のインターネット総通信量



8365問

ドリル教材
1日あたり問題総回答数

1288ページ

デジタル教科書
1日あたり総閲覧ページ数





ICT支援員の導入による効果②～学校の反応～

◆先生たちからの声

- 情報担当教諭以外の先生とも直接コミュニケーションが取りやすいことで、学校側からの要求にとどまらず、色々な提案をいただき、問題の解決やよりよい授業づくりに繋がっている。

- 教育活動での資料作りやフォーム作り、集計作業、新しいアプリの使い方など、教職員の要望に幅広く対応いただいているので、教職員の働き方改革に大いに貢献していただいている。

- 教育活動だけでなく、校務・情報発信など、様々な場面で頼りになる。学校力の向上にもつながり、なくてはならない存在となっている。

学校での評価は高く
ICT支援員常駐の効果
を実感している。



ICT支援員の導入による効果③～課題および今後の展望～

◆課題

- ICT支援員の「役割」と「実際の業務内容」が、必ずしも一致しておらず、業務外の事を頼まれることが多い。線引きがあいまい
- ICT支援員の技術向上・スキルアップなど、育成に課題がある
- ICT支援員配備校と未配備校で、ICT活用状況に差が出やすい
- 学校専属となることで、教育委員会として業務内容が見えづらい



◆今後の展望

- 現在は1名体制だが、他学校での需要に合わせて、ICT支援員の増員を目指す
- 技術向上に向けて、ICT支援員の研修・講習等の育成を行いたい
- 授業の補助としてだけでなく、プログラミング教育・情報モラル教育など、専門分野で主体として授業をICT支援員が行えるようにしたい
- 校務DX・働き方改革でのICT担当としての役割を期待

